

国立山口徳地青少年自然の家で研修会が開催されました。

研修指導員を対象とする研修会で、「野外教育の世界的潮流と山口県における自然体験活動の実践について」をテーマに講話を行いました。

徳地には PA の専用施設が設置された 2002 年以降何度となく体験活動の指導に行きました。所長さんはじめ職員の方々とも代々親交があり、山口県からも職員が派遣されています。

コロナ後も TAP（徳地アドベンチャー教育プログラム）への参加団体が多く、施設運営の柱となっているのはうれしいことです。

今回の研修では、TAP について所内で共通理解を図りたいとのことで、私の経験を踏まえてできるだけの情報提供を行いました。伝える側が一番勉強すると言いますが、自らのキャリアすべてを点検・整理することになりました。40 年分を 1 時間でまとめることはたいへんでしたが、充実した作業でもありました。

久しぶりに PA の原著にも目を通しましたが、改めて OBS がアメリカで 1960 年代以降どのように心理療法を取り入れていったのか、また、どのように理論化していったのかがよくわかりました。

研修資料は下記に掲載しています。

[山口県子連 HP](#) > 研修資料

